

2014年 秋季大会 ラウンドテーブルで提案頂いた内容（要点を抜粋）

検討テーマ：『日本経営工学会がリードする産学連携プログラム』

サブテーマ(1)：『産業界の人たちが参加したくなる大会の企画』

Gr.	モデレータ	企画概要	具体計画案
2	笥 宗徳 (東京理科大学)	◆2015年度の春秋大会を目標に、 (1)大会・運営について (2)研究発表について (3)企画について	(1)-1: 大会参加申し込み時にアンケート実施 (賛助会員様、企業が興味のあるキーワードを調査) ⇒大会プログラムに反映するとともに、参加者ニーズを把握する (1)-2: 平日を含めた大会の3日間開催(3月、9月開催で木金土) (2)-1: 企業と研究者側の共同研究の話し合いの場(共同研究カフェ)を設置 (2)-2: 共同研究のための企業持ち込みセッションの設置 (3)-1: 産学共同研究された名誉会員、賛助会員の方の講演・勉強会の設置 (3)-2: 共同研究成果の事例研究発表と表彰
4	小林 稔 (福岡工業大学)	◆産業界の方々が参加したくなる大会の企画 ・産学連携や企業事例の専門セッションを大会に設ける ・シングルセッションのカジュアルなプレゼン機会を設ける ・大々的な表彰を実施し、表彰に社会的権威を持たせる	・秋季大会における企業事例・産学連携セッションの実施 ・経営工学大賞(仮称)を設け、上記セッションから受賞者を決定する ・翌年の春季大会で受賞者によるシングルセッションでのプレゼンを実施する ・春季大会における事前投票による受賞候補者(プレゼンター)決定

サブテーマ(2): 『学会として産業と社会に貢献できる企画』

Gr.	モデレータ	企画概要	具体計画
1	渡邊 一衛 (成蹊大学)	<p>◆企業との連携研究について、「研究の方向性」「テーマ」「学会としての役割」「研究を進めるための要件」等を議論</p> <p>(※この案は大変そうですが、これくらい強力に進めないとできないのではと感じています。会長をはじめ、理事会、各委員会、研究部会、事務局の強い牽引力と支援ではじめて成り立つプロジェクトだと思います。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会での検討、方向性の決定、課題検討、企業からの意見聴取、人選(企業側の参加者、学会側の参加者) ・2015年5月: 春季大会で趣旨説明(会長)、研究内容・主査(まとめ役)の公表、参加者募集、全体計画・年度計画の作成、アウトプットイメージの意思統一 ・2015年9月: 月例会議の開催、講演・勉強会・現場見学会(研修会)開催など ・2015年11月: 秋季大会でのワークショップ開催 ・2016年1月: 月例会議の開催、講演・勉強会・現場見学会(研修会)の開催など ・2016年5月: 春季大会で特別セッション開催 ・2016年6月: 中間報告書の作成、次年度サイクルへの対応項目の検討・選択、参加者の追加募集、人選、全体計画の修正と年度計画作成 ・2016年9月: 月例会議の開催、講演・勉強会・現場見学会(研修会)の開催など ・2016年11月: 秋季大会でのワークショップ開催 ・2017年1月: 月例会議の開催、アウトプットのまとめ作業(報告書、論文作成) ・2017年5月: 春季大会で特別セッション開催 ・2017年6月: 最終報告書・論文の公表、次のサイクルへの対応項目の検討
3	皆川 健多郎 (大阪工業大学)	<p>◆産業界のニーズと学会のシーズのマッチングセッションの企画</p> <p>(※複数案出た中から、実現可能性の高いもの1つを提示)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2015年 秋季大会(於: 金沢工大)にて当該セッションを設ける ・産業界側からのニーズの発表と、研究者側からのシーズの発表 ・過去の企業との共同研究事例について、ニーズとシーズのマッチングの観点からご発表もいただく